

合格

# 漢文攻略

## 漢文の読解



ステップ1

### 訓読

#### ● 訓読とは

訓読とは、日本語とは語順が異なっている漢文を、日本語の読み方に変えて読むことをいいます。

白文<sup>はくぶん</sup>…中国人が書いた文章や漢詩。

〔例〕 国破山河在。

訓読文<sup>くんじやくぶん</sup>…白文に訓点をつけた文。訓点とは①送り仮名と②返り点のことです。

〔例〕 国破<sup>レ</sup>山河<sup>リ</sup>在。

書き下し文<sup>かくだいぶん</sup>…訓点に従い漢文を日本語として読んだもの。送り仮名は歴史的仮名遣い<sup>れきしきかみなぢい</sup>のままひらがなに直す。

〔例〕 国破れて山河在り。

漢文を読む上で押さえておくことは次の二点です。

#### ① 送り仮名

- 1 必ずカタカナ表記をする。
- 2 漢字の右下に漢字よりも小さくつける。
- 3 歴史的仮名遣いで書く。  
カタカナで右下に小さくつける。

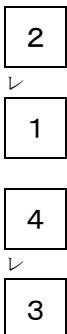
大器<sup>ハ</sup>晩成<sup>ス</sup>。

#### ② 返り点

- 1 レ点<sup>レ</sup>…一文字、上に返る時に使う。
- 2 一・二点<sup>一・二</sup>…二文字以上、上に返る時に使う。

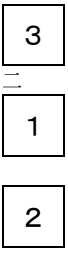
読<sup>レ</sup>書<sup>ヲ</sup>学<sup>レ</sup>道<sup>ヲ</sup>。

読む順序は

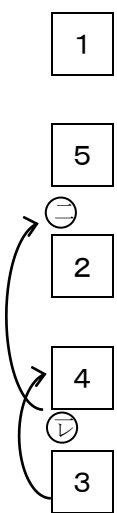


見<sup>ル</sup>南山<sup>ヲ</sup>。

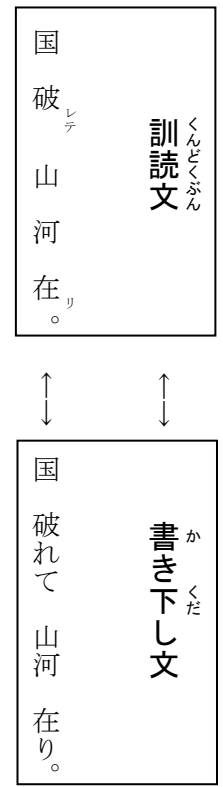
読む順序は



- 3 レ点 (いちれ点) …レ点を優先する。



## 返り点・送り仮名をつける



### 書き下し文にする際のルール

- 一 漢字はそのまま漢字にし、送り仮名はひらがなにする。  
 ○ 大器晩成。 ↓ 大器は晩成す。
- 二 返り点がある時は、返り点に従う。  
 ○ レ点 望山月。 ↓ 山月を望む。  
 ○ 一・二点 帰二故郷一。 ↓ 故郷に帰る。
- 三 仮名遣いは、歴史的仮名遣いのままにする。  
 ○ 思二故郷一。 ↓ 故郷を思ふ。  
 ○ 有レ備無レ憂。 ↓ 備へ有れば憂ひ無し。

### 四 次の漢字は書き下し文に直す際に、ひらがなにする (助動詞や助詞の場合のみ)。

★例

- ① 歲月不待人。 ↓ 歲月は人を待たず。
- ② 己所不欲。 ↓ 己の欲せざる所。
- ③ 人之罪也。 ↓ 人の罪なり。

- 1 不 〓 ず 不 〓 ざ(ら・り・る・れ)
- 2 也 〓 なり
- 3 可 〓 べし
- 4 自 〓 よ(り)
- 5 之 〓 の
- 6 乎 〓 や
- 7 者 〓 は
- 8 与 〓 と

五 置き字…訓読しない漢字（書き下し文にする時に、書かない）

▼① 而 ② 於 など

① 学ンデ而 時ニ習フ之ヲ。  
↓ 学んで時に之を習ふ。

② 苛ハ政ニ猛ナリ於ヨリ虎ニ。  
↓ 苛政は虎より猛なり。

■ 練習問題 ■

1 次の□を漢字とを考えて、読む順序を数字で記入しなさい。

例 □<sub>2</sub>  
□<sub>1</sub>

⑤	④	③	②	①	例
□	□ <sub>レ</sub>	□	□ <sub>ニ</sub>	□ <sub>レ</sub>	□ <sub>2</sub>
□ <sub>ニ</sub>	□ <sub>ニ</sub>	□ <sub>ニ</sub>	□	□	□ <sub>1</sub>
□	□	□	□	□	
□	□	□ <sub>レ</sub>	□ <sub>一</sub>	□ <sub>ニ</sub>	
□ <sub>レ</sub>	□ <sub>一</sub>	□	□ <sub>レ</sub>	□	
□	□	□ <sub>一</sub>	□	□ <sub>一</sub>	

2 次の文を書き下し文にしなさい。

例 明君制民之産。 ↓ 明君は民の産を制す。

(1) 王欲行<sub>ス</sub>之<sub>ハントこれヲ</sub>。

(2) 盡<sub>ツクシテ</sub>人事<sub>ヲ</sub>待<sub>ツ</sub>天命<sub>ヲ</sub>。

(3) 楚<sub>ソ</sub>人<sub>ひと</sub>有<sub>リ</sub>涉<sub>レ</sub>江<sub>ヲ</sub>者<sub>一</sub>。

(4) 何<sub>ソ</sub>不<sub>ル</sub>積<sub>レ</sub>呉<sub>ヲ</sub>而<sub>レ</sub>患<sub>レ</sub>越<sub>ヤ</sub>乎<sub>一</sub>。

3 次の漢文の——線部はどのように読むか。あとの□に当てはまる書き下し文を書きなさい。

(1) 古<sub>いにしへの</sub>之<sub>の</sub>学<sub>ハ</sub>者<sub>ハ</sub>為<sub>レ</sub>己<sub>ニ</sub>、今<sub>ハ</sub>之<sub>の</sub>学<sub>ハ</sub>者<sub>ハ</sub>為<sub>レ</sub>人<sub>ニ</sub>。

古の学者は己の為にし、今の学者は□。

(2) 一<sub>いっ</sub>夕<sub>せき</sub>輕<sub>けい</sub>雷<sub>らい</sub>落<sub>トス</sub>万<sub>ばん</sub>糸<sub>し</sub>。

一夕の輕雷□。

(3) 時<sub>ニ</sub>有<sub>リ</sub>微<sub>び</sub>涼<sub>りやう</sub>不<sub>ズ</sub>是<sub>コレ</sub>風<sub>ナラ</sub>。

□  
是れ風ならず。

4 次の漢文の——線部はどのような順番で読むのが正しいか。〔例〕に  
 ならって  に数字を書きなさい。

〔例〕 読<sub>ム</sub>書<sub>ヲ</sub>。      ↓ 読<sub>レ</sub>書  
 2       1

(1) 遙<sub>ハルカニ</sub>見<sub>テ</sub>人<sub>ニ</sub>家<sub>ヲ</sub>花<sub>アレバ</sub>便<sub>ナハチ</sub>入<sub>ル</sub>      ↓ 遙<sub>ハルカニ</sub>見<sub>テ</sub>人<sub>ニ</sub>家<sub>ヲ</sub>  
     

(2) 常<sub>ニ</sub>観<sub>ジテ</sub>世<sub>ノ</sub>間<sub>ヲ</sub>不<sub>レ</sub>定<sub>ス</sub>、      ↓ 常<sub>ニ</sub>観<sub>ジテ</sub>世<sub>ノ</sub>間<sub>ヲ</sub>不<sub>レ</sub>定<sub>ス</sub>、

■ 練習問題 ■

1 次の白文に、書き下し文に従って返り点・送り仮名を付けなさい。

① 父 為 子 隠 (父は子の為に隠す)

② 民 無 信 不 立 (民、信無くんば立たず)

③ 何 以 利 吾 国 (何を以て吾が国を利せん)

④ 以 為 失 其 事 也 (以て其の事を失ふと為せばなり)

⑤ 為 後 義 先 利 (義を後にして利を先にするを為す)

2 次の漢文の——線部に、書き下し文の読み方になるように返り点をつけなさい。

(1) 蓬 萊 定 不 遠  
蓬萊定めて遠からず

(2) 口 吹 風 車 手 弄 瓦  
口に風車を吹き手に瓦を弄ばしむるを

(3) 此 何 不 為 福 乎。  
此れ何ぞ福と為らざらんや。

3 次の文の——線部がへーのような読み方になるように返り点・送り仮名を正しくつけたものをア～エから選び、記号で答えなさい。

王戎、七歳のとき、嘗かつと与しよせうじ諸小兒遊かつ。 （嘗かつて諸小兒と遊しよせうじび）、

ア 嘗かつ与しよせうじ諸小兒遊かつ。 イ 嘗かつ与しよせうじ諸小兒遊しよせうじ。  
ウ 嘗かつ与しよせうじ諸小兒遊しよせうじ。 エ 嘗かつ与しよせうじ諸小兒遊しよせうじ。

4 次の漢文を書き下し文にしなさい。

(1) 帰かへ国くに。

(2) 思おも故郷こきやう。

(3) 歳とし月つき不あ待ま人ひと。

(4) 一ひと寸すん、光陰こういん不あ可べ軽かろ。

(5) 人ひと不あ知し道みち。

(6) 天地てんち者は万物ばんぶつ之の逆さか旅りよなり。

(7) 他山たさん之の石いし、可べ以も攻み玉ぎよく。

(8) 吾われ十じゆ有あ五ご而して志こころ於に学まな。

# 解答

## 練習問題

1 次の□を漢字と考えて、読む順序を数字で記入しなさい。

例 □  
2  
レ □  
1

① □  
2  
レ □  
1  
□  
3  
□  
6  
ニ □  
4  
□  
5

② □  
4  
ニ □  
1  
□  
2  
□  
3  
□  
6  
レ □  
5

③ □  
1  
□  
6  
ニ □  
2  
□  
4  
レ □  
3  
□  
3  
□  
5  
□  
5

④ □  
5  
レ □  
4  
ニ □  
1  
□  
2  
□  
3  
□  
3  
□  
6

⑤ □  
1  
□  
6  
ニ □  
2  
□  
3  
□  
5  
レ □  
4



2 次の文を書き下し文にしなさい。

例 明君制民之産。 ↓ 明君は民の産を制す。

(1) 王欲行<sub>レ</sub>之。

王之行はんと欲す。

(2) 盡<sub>ニ</sub>人事<sub>ヲ</sub>待<sub>ツ</sub>天命<sub>ヲ</sub>。

人事を盡くして天命を待つ。

(3) 楚<sub>ニ</sub>人<sub>ハ</sub>有<sub>リ</sub>涉<sub>レ</sub>江<sub>ヲ</sub>者<sub>一</sub>。

楚人に江を渉る者有り。

(4) 何<sub>ツ</sub>不<sub>レ</sub>積<sub>レ</sub>呉<sub>ヲ</sub>而<sub>レ</sub>患<sub>ハ</sub>越<sub>ヲ</sub>乎<sub>一</sub>。

何ぞ呉を積して越を患へしめざるや。

置き字…書き下し文にするときは書かない。

3 次の漢文の——線部はどのように読むか。あとの□に当てはまる書き下し文を書きなさい。

(1) 古<sub>ノ</sub>之<sub>ノ</sub>学者<sub>ハ</sub>為<sub>レ</sub>己<sub>ノ</sub>、今<sub>ノ</sub>之<sub>ノ</sub>学者<sub>ハ</sub>為<sub>レ</sub>人<sub>ノ</sub>。

古の学者は己の為にし、今の学者は□。

人の為にす

(2) 一<sub>ツ</sub>夕<sub>ノ</sub>輕<sub>ク</sub>雷<sub>ハ</sub>落<sub>ス</sub>万<sub>ノ</sub>糸<sub>ヲ</sub>。

一夕の輕雷□。

万糸を落とす

(3) 時<sub>ニ</sub>有<sub>リ</sub>微<sub>ク</sub>涼<sub>ク</sub>不<sub>レ</sub>是<sub>レ</sub>風<sub>一</sub>。

□  
是れ風ならず。

時に微涼有り

4 次の漢文の——線部はどのような順番で読むのが正しいか。〔例〕に  
 ならって□に数字を書きなさい。

〔例〕 読<sub>ム</sub>書<sub>ヲ</sub>。 ↓ 読<sub>レ</sub>書  
 □2 □1

(1) 遥<sub>ハルカニ</sub>見<sub>テ</sub>人<sub>ニ</sub>家<sub>ヲ</sub>花<sub>アレバすなはチ</sub>便<sub>ハ</sub>入<sub>ル</sub> ↓ 遥<sub>1</sub>見<sub>4</sub>人<sub>2</sub>家<sub>3</sub>

(2) 常<sub>ニ</sub>観<sub>ジテ</sub>世<sub>ノ</sub>間<sub>ヲ</sub>不<sub>レ</sub>定<sub>ス</sub> ↓ 常<sub>1</sub>観<sub>6</sub>世<sub>2</sub>間<sub>3</sub>不<sub>4</sub>定<sub>5</sub>

# 練習問題

1 次の白文に、書き下し文に従って返り点・送り仮名を付けなさい。

① 父ハ為ニ子ノ隱ス  
 (父は子の為に隠す)

② 民タ無ク信バ不レ立タ  
 (民、信無くんば立たず)

③ 何ヲ以テ利ニ吾ガ国ヲ  
 (何を以て吾が国を利せん)

④ 以テ為レ失フ其ノ事ヲ也  
 (以て其の事を失ふと為せばなり)

⑤ 為ス後ニ義ヲ先ニ利ヲ  
 (義を後にして利を先にするを為す)

2 次の漢文の——線部に、書き下し文の読み方になるように返り点をつけなさい。

(1) 蓬 菜 定 不 遠  
 蓬菜定めて遠からず

(2) 口 吹 風 車 手 弄 瓦  
 口に風車を吹き手に瓦を弄ばしむるを

(3) 此 何 不 為 福 乎  
 此れ何ぞ福と為らざらんや。

3 次の文の——線部がへーのような読み方になるように返り点・送り仮名を正しくつけたものをア～エから選び、記号で答えなさい。

王戎、七歳のとき、嘗かつと与と諸小兒遊しよせうじ。 (嘗かつて諸小兒と遊しよせうじび)、

ア 嘗と与と諸小兒遊しよせうじ。 イ 嘗と与と諸小兒遊しよせうじ。  
ウ 嘗と与と諸小兒遊しよせうじ。 エ 嘗と与と諸小兒遊しよせうじ。

★書き下し文の「と」は、「与」。

4 次の漢文を書き下し文にしなさい。

(1) 帰ル国ニ。 ★太字は、平仮名にしなさい。

国ニに帰ル。

(2) 思フ故郷ニ。

故郷ニを思フ。

(3) 歳月ハ不レ待タ人ヲ。

歳月ハ人ヲを待タたず。

エ

(4) 一寸、光陰不レ可レ輕シ。

一寸の光陰ニ軽シんずべからず。

(5) 人、不レ知ラ道ヲ。

人ハ道ヲを知らず。

(6) 天地者、万物之逆旅ナリ。

天地は万物の逆旅ナリ。

(7) 他山之石、可レ以テ攻ム玉ヲ。

他山の石、以テ玉ヲを攻ムべし。

(8) 吾十有五、而志ニ於テ学ニ。

吾十有五ニして学ニに志ス。